



Rotary Club of Komatsu City News



ROTARY Club of
KOMATSU CITY
国際ロータリー第2610地区
1998年3月25日創立

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度RIテーマ

「奉仕しよう みんなの人生を
豊かにするために」

例会場：〒923-0868 石川県小松市日の出町4-93

ホテルビナリオKOMATSUセントレ2階 毎週月曜日 19:00点鐘

事務所：同上 ホテルビナリオKOMATSUセントレ1F TEL 0761-20-2610 FAX 20-2600

E-Mail: rotarian@sirius.ocn.ne.jp Home-Page: http://www3.ocn.ne.jp/~rotarykc/

2022年2月28日(月) 小松シティRC第1004回例会 当クラブ出席率 63.64% (補正出席率 63.64%)
新会員卓話「土中商事と私の人生」 新会員 土中 哲治 会員



【会長挨拶】

「第二のふるさと金沢」と公言しておられる作家の五木寛之さんが狂言師の野村万作さんとともに日本芸術院会員に選出されました。五木さんは1965年から69年までの4年間で金沢で過ごし、滞在中に旧ソ連を旅した経験をもとにした「さらばモスクワ愚連隊」で66年に小説現代新人賞を受けて作家デビューし翌年に「蒼ざめた馬を見よ」で直木賞を受賞しています。五木さんは金沢滞在中、小説やエッセー、評論、対談など多彩な文筆活動を展開し、69年に横浜に転居するまでの4年半の間に100作近くを手掛けています。これらの作品群を期したプレートが昨年12月に新装された金沢文芸館内に並んでいるそうです。普段はあまり小説を読む習慣はない私ですが、北国新聞に掲載される五木さんのコラムは毎週楽しみに読んでおりますので今回何かおもしろそうな小説はないかと探してみたところ、うってつけのものが見つかりました「雨の日には車をみがいて」という、いかにも自分向けの題でなかなか面白い内容でした。アルファロメオやボルボ、シトロエン、ジャガーなどの1960年代から70年に生産された名車を乗り継いでいく主人公とその年代と重なって親しい関係にあった女生とのかかわりのドラマをつづったストーリーです。車というのはもちろん道具として私たちの生活には欠かせないものではありますが、例えば初めて買った車をTVや雑誌、街角などで見たりすると、当時付き合っていた彼女のことや、考えていたこと、悩んでいたこと、時代の匂いまでも思い出すとといったことは誰にでもあることなのではないかと思えます。特にひと昔のように車もキャブレターで動いていたり、ガソリン臭かったり、雪で滑ったりする時代、古い時代のものであればそういったトラブルも良い思い出となって残ると思います。明日から3月ではありますが、まだまだ夜長の日々は続きます。お時間ありましたら是非お読みになってください。

【幹事報告】

- ・3/26 (土) 小松3RC合同職業講話例会について

「小松シティRC ニコニコボックス 会員卓話御礼・その他」

- ・鈴木隆史「土中さん、本日はお忙しい中卓話を有難うございました。これまで謎に包まれた土中さんのお話を伺えました事、感謝致します。沢山のご苦労もあるかと思いますが、これからも我々の生活をお助け願えたらと思います。どうか、くれぐれもお体に気を付けてご活躍下さいませようお願い致します。」
- ・河北和則「本日は土中会員の久しぶりのご参加で卓話を頂くことで、楽しみにしております。今後の御社のご成功とご発展祈っております。土中会員のご趣味の充実も期待しております。有難うございました。感謝致します！」
- ・山崎秀雄「土中さん、卓話お疲れ様。慰労茶会やりましょう。」
- ・杉本隆「土中さん、本日は卓話有難うございます。「土中商事と私の人生」について大変勉強になりました。益々のご活躍をお祈り申し上げます。」

(順不同・敬称略)